



# たんぽぽだより

令和元年7月号 No.48

砂川市病児・病後児保育施設  
0125-54-2278

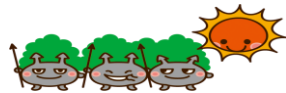
日に日に日差しも強くなり、暑い夏がやってきました。強い日差しの中で特に心配になるのが熱中症です。炎天下だけでなく、湿度の高い室内でも起こり得ます。こまめな水分補給を心がけ予防しましょう。また、夏は汗をかいたり、虫に刺されたり、お肌のトラブルが増える季節ですね。子どもの皮膚は薄く『バリア機能』が安定していないため、ちょっとしたことで湿疹、皮膚炎が生じたり、細菌やウイルスに感染しやすいので、皮膚の清潔にも十分気をつけましょう。今月も体調の変化に気をつけて元気いっぱい過ごしましょうね。

## ☆☆☆病児・病後児保育施設のようす☆☆☆

先月は、急性上気道炎、中耳炎、感染性胃腸炎などでの利用がありました。保育室、玄関の壁面も夏！になりましたよ。



## 夏かぜ



大人の夏かぜは症状が穏やかな場合が多いのですが、子どもの場合は症状が重くなる場合があります。プールを介して感染することが多い「プール熱」や、口内炎のできる「ヘルパンギーナ」、手・足・口に水ぼうがができる「手足口病」などは、子どもがかかりやすいウイルス性の夏かぜの代表格で、症状の変化に注意が必要です。高熱が出て嘔吐などが見られる時は、医療機関を受診しましょう。予防法は、冬場とあまり変わりません。部屋の乾燥を防ぎ、手洗いをしっかり行い、ビタミンCをしっかりとって規則正しい生活を心がけましょう。

## 《 利用のながれ 》

お子さんが元気な時

事前登録

お子さんの健康に関する情報を把握し、安全に保育するために登録が必要です。『登録申込書』に必要事項を記入し提出してください。



お子さんが病中、または病気の回復期の時

(ご利用前日又は当日)

②仮予約

施設に TEL などでご定員の空き状況を確認し仮予約をお願いします。



③病院を受診

医療機関を受診し『医師連絡票』を作成依頼します。



④利用を申請

医師から発行してもらった『医師連絡票』を添えて『利用申請書』を提出します。

日射病  
熱射病に  
注意

外で強い日ざしにさらされて起こるのが日射病、蒸し暑い所に長時間いて起こるのが熱射病。総称して熱中症といいます。

## 予防のポイント♪



炎天下であそばない

日ざしが強いのは、午前10時ごろ～午後2時ごろ。この時間帯の外あそびは30分ほどで切り上げて。

ベビーカーは短時間で

ベビーカーは、アスファルトの照り返して熱がこもりやすい。長時間の移動は避けましょう。

外と家との温度差に注意

涼しい室内から急に気温の高い外に出ると、体力が奪われて危険です。

子どもを一人にしない

子どもを車や部屋に一人で残さないで。クーラーをつけていても危険です。

つばの広い帽子をかぶる

頭だけでなく、後頭部や首も、日光から守りましょう。

こまめな水分補給

少量の水分を30分を目安に、こまめに飲ませます。